

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/10/30	2020/11/13	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	22,977.13	25,385.87	25,587.96	2020/11/12	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	26,501.60	29,479.81	29,933.83	2020/11/9	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	104.66	104.63	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 米追加経済対策の早期実行や、新型コロナウイルスワクチンの高い有効性を示す治験結果の発表を受けた経済活動の全面再開への期待から、大幅に上昇～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+1,060.64円(+4.36%)、TOPIXが+44.73ポイント(+2.70%)となり、米追加経済対策の早期実行や、新型コロナウイルスワクチンの高い有効性を示す治験結果の発表を受けた経済活動の全面再開への期待から、大幅に上昇しました。業種別(東証33業種)で見ると、輸送用機器、非鉄金属、鉱業などの31業種が上昇した一方、その他製品、水産・農林業の2業種が下落しました。

週初9日の日本株市場は、前週末に米大統領選挙におけるバイデン候補の勝利が報じられたことで、バイデン次期政権において米追加経済対策が速やかに実行されるとの期待が広まったことなどから大幅に上昇して始まりました。その後は、米製薬大手ファイザーが米国時間の9日に開発中の新型コロナウイルスワクチンの高い有効性を示す治験結果を発表したことを受けて、経済活動の全面再開への期待が高まったことなどから上昇幅を広げました。しかし週末13日は、足元で新型コロナウイルスの世界的な感染急拡大が続いていることから、経済活動が制約され景気回復が鈍化するとの懸念が意識され、下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
11月16日	Mon	日本	GDP(国内総生産)速報値(年率/前期比)	7-9月期	▲28.1%
		中国	鉱工業生産(年初来/前年比)	10月	+1.2%
		米国	ニューヨーク連銀製造業景気指数	11月	10.5
11月17日	Tue	米国	小売売上高(除自動車)(前月比)	10月	+1.5%
			鉱工業生産(前月比)	10月	▲0.6%
		日本	貿易収支	10月	6,878億円
11月18日	Wed	欧州	ユーロ圏CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー・たばこ/前年比)	10月	+0.2%
		米国	住宅着工件数	10月	1,415千件
		欧州	EU(欧州連合)首脳会議(オンライン)		
11月19日	Thu	米国	中古住宅販売件数	10月	6,540千件
			景気先行指標総合指数	10月	+0.7%
			フィラデルフィア連銀製造業景況指数	11月	32.3
11月20日	Fri	日本	CPI(全国消費者物価指数)(除生鮮/前年比)	10月	▲0.3%
		欧州	ユーロ圏消費者信頼感指数	11月	▲15.5

決算発表予定 他	国内	決算発表 : 11/16 リクルートHD 11/19 東京海上HD、MS&AD、SOMPOホールディングス
	海外	決算発表 : 11/16 バイトウ、JDドットコム 11/17 ウォルマート、ホーム・デポ 11/18 エスビティア 11/19 メーシーズ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 主要国での新型コロナウイルスの感染再拡大などを背景に、上値の重い展開 ～

今週の日本株市場は、主要国での新型コロナウイルスの感染再拡大などを背景に、上値の重い展開を予想しています。先週末に、米大統領選挙を巡り複数の米メディアは全米50州と首都ワシントンの結果が判明し、バイデン候補が過半数を大きく上回る306人の選挙人を獲得したと報道しました。トランプ大統領は依然として敗北宣言は行っていないものの結果を覆すのは困難とみられ、米国の政治的不透明感が大きく後退したことは株価にプラスに働くとみえています。また国内においては、7-9月期決算が製造業中心に事前予想を上回る堅調な内容であったこともプラスの材料と考えています。しかし、主要国で新型コロナウイルスの感染再拡大に歯止めがかからない状況にあり、更なる行動制限の強化がなされれば投資家センチメントが悪化しかねず、国内においても業績改善期待が後退し株価の重しに働くと考えます。その他の注目材料として、日本では16日のGDP、18日の貿易収支、20日のCPI、米国では16日のニューヨーク連銀製造業景気指数、17日の小売売上高、鉱工業生産、18日の住宅着工件数、欧州では18日のユーロ圏CPI、19日のEU首脳会議、20日の消費者信頼感指数、中国では16日の鉱工業生産などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会